

Communicative Musicality#6

2019.5.17 Fri 17:00-19:30

名古屋市立大学 滝子(山の畑)キャンパス 1号館 2階 音楽室
参加費300円・申込不要

音楽現場から紐解いて行く、

コミュニケーション・ミュージカリティ

音楽現場では、いかにして純度のあるコミュニケーションが形成されるのでしょうか。

リズム、言葉、伝統、いくつかの事例を元にヒントを見出したいと思います。

雑談を踏まえてのフリーインプロヴィゼーション実践を。

古田大地 ピアニスト/パーカッショニスト

岐阜県美濃市出身/在住。ライブスポットDiAngeloオーナー。南山大学在学中よりピアニストとして活動。ジャズクラブ等での演奏、朗読舞台への作曲/即興、地元伝統芸能との融合音楽の試みや、2004年ハヶ岳ジャズストリート出演、他。また姉妹店ブラッサオンゼ岐阜(2007年閉店)に始まる長年の営みの中、ヤヒロトモヒロ、ウーゴ・ファトルーソと出逢い多大な影響を受け、近隣地域の多くの人々と音楽の魅力を分かち合うべく活動を継続している。2014年には美濃市制施行60周年記念事業《夢かなうまち☆うだつカーニバル》企画主任。宮澤摩周「Quer Swingar Vem Pra Cá」、岐阜県内/名古屋/関東/関西の仲間と約500名の市民参加と協力し、江戸期から現存する「うだつの上がる町並み」にて記憶に残るサンバパレードを実現した。